

17. カラー

病害虫名 (F : 菌類病、B : 細菌病、V : ウイルス病、O : その他の病原体)

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
疫 病 (F)	生 育 期 間	1. ほ場の排水性向上に努める。 2. 発病株は直ちに抜き取り、ほ場外に埋却する。	
軟 腐 病 (B)	生 育 期 間	1. 罹病塊茎を絶対に使用しない。 2. ほ場の排水性向上に努める。 3. 発病株は直ちに抜き取り、ほ場外に埋却する。	
モザイク病 (V)	生 育 期 間	1. アブラムシ類防除のため、「25. 花き類・観葉植物」の項を参考に、定期的に殺虫剤を散布する。 2. ハウス周辺の雑草は伝染源になるので定期的に除草する。 3. 罹病株から順次二次伝染が起こるため、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。	1. 病原ウイルスにはCMV、DsMVなどが知られており、いずれもアブラムシ類により媒介される。

18. けいとう

・殺菌剤 (参考農薬)

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M3+1	ホーマイ水和剤	30分間種子浸漬 種子粉衣	は種前	1回	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決まっているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名 (F : 菌類病、B : 細菌病、V : ウイルス病、O : その他の病原体)

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
疫 病 (F)	生 育 期 間	1. ほ場の排水性向上に努める。 2. 発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。	
モザイク病 (V)	生 育 期 間	1. アブラムシ類防除のため、「25. 花き類・観葉植物」の項を参考に、定期的に殺虫剤を散布する。 2. ほ場周辺の雑草は伝染源になるので定期的に除草する。 3. 罹病株から順次二次伝染が起こるので、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。	1. 病原ウイルス (CMV) は、アブラムシ類により媒介される。
苗立枯病 (F)	は 種 前	[参考農薬] 1. 種子に対する薬剤処理は、ホーマイ水和剤 200 倍液に 30 分間種子浸漬処理をするか、種子重量の 1.0% を種子粉衣処理する。	1. 消毒液の残液については、農業廃液処理装置を用いて処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を依頼する等適正に処理する (特別指導事項参照)。